

検証授業 指導案 (まとめの共同学習)

- (1) ねらい ・両校で調べた結果から共通点を見つけ、生産の工夫や努力と自然条件・社会条件・消費者のニーズと願いを関連付けて考えることができる。
- (2) 活動の展開

時間	学習活動	教師の支援	評価規準
5分	1. 本時のめあてを確認する。	発表の進め方を説明し、学習の見通しをもたせる。	
	みつけたよ！わかったよ！！ 物を作る仕事の工夫		
25分	2. 見学やインタビューをして分かったことを発表し合う。 栄小の発表 (りんご作りについて)	似ているところを探しながら発表を聞くよう促す。	
20分	・質問・感想発表	共感的態度で意見交流できるように話し合いをリードする。	
5分	東大曲小の発表 (花火作りについて)	思考を整理できるようにそれぞれの学級の発表を分かりやすく板書する。	
20分(10分・10分)	休憩(切断)		
	3. りんご作りと花火作りの似ている所を見つけ、物を作る仕事の工夫について話し合う。	板書をもとにそれぞれの共通点に着目して考えさせる。	両校で調べた結果から共通点を見つけ、生産の工夫や努力と自然条件・社会条件・消費者のニーズと願いを関連付けて考えている。
10分	4. 学習のまとめをする。	個々の工夫について述べている児童には、まとめるようなことが言えるのか、抽象的な表現をしている児童には、根拠となる具体的な事実を付け加えさせ、社会的事象の意味をまとめさせる。	(発表・発言・カード)